

港区立赤坂中学校

平成27年度 授業改善推進プラン

<ul style="list-style-type: none"> ○関係法規 ○学習指導要領 ○東京都教育委員会目標 ○港区教育委員会目標 	<p style="text-align: center;">教育目標</p> <p>友情と活力にみちた赤坂中学校の伝統のもと、知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する</p> <p>1. 「まなび」を大切にす 2. 「こころ」を大切にす</p> <p>3. 「いのち」を大切にす 4. 「とき」を大切にす</p>	<p>期待する生徒像・保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識や技能を習得・活用し、課題を積極的に解決できる生徒 ○思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力等を活用して、課題を探究できる生徒 ○自己理解・他者理解に努め、自らの生き方を自己決定できる生徒 ○進んで心身を鍛え、自分の健康に関心を持ち、規則正しい生活習慣や適切な食生活を身につけようとする生徒
---	--	---

学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

・学習指導要領の趣旨を生かし、学力の診断的な分析をもとに、「分かる(できる)授業」「楽しい授業」を進めて興味・関心を高め、確かな学力定着と向上を目指す。

・各教科等で記録・説明・批評・論述・討論・発表等の学習活動を工夫し、言語活動を充実させる。

・第1・3土曜日に授業を実施し、授業時数確保を図る。併せて、授業時数確保のため、週29時間の授業を年間通して行う。

・「教科通信」「評価評定説明会(教科別保護者会)」「補充教室」等を通して、意欲的・主体的な学びを育てる。

・英語検定・数学検定・漢字検定の受検を奨励し、学力向上とキャリアアップを図る。

・特別支援学級においては個別指導計画に基づいた指導を推進し、交流及び共同学習を推進する。

各教科の指導の重点を確実に生徒に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	生活指導の重点										
<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育を充実させ、社会の一員としてのより良い生き方や他者・自然と共生できる力を培う。 ○生徒自身から、ルールやマナー・けじめを重んじる態度を啓発させていき、規範意識を高め、自主・自律の精神を培う。 ○健康教育・食育を通して、健康・気力・体力の向上を図るとともに、「こころ」「いのち」「もの」に感謝する心を育てる。 ○人権教育を通して、いじめを許さない「こころ」や、思いやりの「こころ」を育てる。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 国語 [指導法の結果分析]「読む」「読み取る」領域を充実しなければならない。読書指導はもとより、「読む」時間を多くし、読まざるを得ない場の設定、読みたくなる環境の設定を心がける。[具体的な授業改善策]図書室を利用した学習を多く設定する。併せて、読んだことをもとに話し合ったり書き合ったりする授業を実践していく。読んだことを生かして進める授業の形を実現するようにする。読書一万ページの取り組みを活性化するため、図書室を利用した授業の工夫を考え、実践していきたい。[補充・発展指導計画]自主学習を奨励し、力に応じてやりたいことを具体的に形にしていって課題の設定やシステムを作っていく。 </td> </tr> <tr> <td> 社会 [指導法の課題分析]授業開始時に本時の目標を明確にし、授業での学習内容が分かりやすいように効果的に学習していけるようにする。思考・判断・表現力を高められるようにしていきたい。 [具体的な授業改善策]授業終了時に次時の授業内容を予告し、教科書を一読するなどの予習をしていくようにする。また、授業の最初には時事問題を発表させ、必要があれば簡単な解説を行い、社会に対する興味・関心を育てたい。様々な資料を活用し、多面的・多角的に社会的現象を考えさせていきたい。また、インターネットをスクリーンに出して資料として併用していく。 [補充・発展指導計画]3年生では弁護士会指導のもと模擬裁判、税務署や間税会指導のもと租税教室も実施する。全学年希望する生徒には放課後に質問教室、補習を実施する。 </td> </tr> <tr> <td> 数学 [指導法の結果分析]授業は習熟度別の少人数授業を行っている。基礎クラスではスモールステップを大切にしており、段階を丁寧に踏む指導ができていく。学習すべきことが明確にできているが、演習時間が少ないように感じる。応用コースでは数学の本質に触れる機会、数学的活動の時間を設定することがあまりできていない。この点が「数学的な見方や考え方」の結果に表れている。 [具体的な授業改善策]授業の進め方を見直すことで、「数学的な見方や考え方」の力を伸ばすような指導の時間を確保する。教科書に載っている「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」を活用していきたい。 [補充・発展指導計画]上記のことに加え、スパイラル的な展開を活かして授業を進めていく。 </td> </tr> <tr> <td> 理科 [指導法の課題分析]実験への関心や興味はより高まっている。より実験・観察を中心とした授業を進めることで、実感的理解を高め、理科への学習意欲が高まるようにする。実験の予想とその実験結果から考察を深めていく活動をより丁寧にを行うようにする。 [具体的な授業改善策]班での実験の実施や実験プリントの工夫・改善を行う。 [補充・発展指導計画]・授業中の繰り返し指導を行う・生徒同士が教え合えるように授業を進めていく。 </td> </tr> <tr> <td> 音楽 [指導法の課題分析]小学校時、または前年度までの学習における、楽典的な知識の向上を図る。 [具体的な授業改善策]楽典プリントの活用。読譜の工夫。ソルフェージュ能力を身に付けさせる。 [補充・発展指導計画]放課後等に個別指導を行う。人前で演奏する機会を増やす。 </td> </tr> <tr> <td> 美術 [指導法の課題分析]指導法のねらいを確実に伝え、「与えられたテーマ」を生徒各自に理解させ、レベルの高い完成作品を目指して制作できるようにする。また、そのために必要な知識や技術の向上を図る。 [具体的な授業改善策]個別指導を充実させ、制作の各段階での確認を行い、基礎的な理論や技術への理解を深め実践につなげる。また互いの作品を鑑賞する時間をとり、言語活動を通して良さを学びとる機会を増やす。 [補充・発展指導計画]各単元の前後等、機会あるごとにスケッチや小作品に取り組み、表現力技術の向上を図る。 </td> </tr> <tr> <td> 保健体育 [指導法の課題分析]各単元における個人の目標を短期目標・長期目標を設定させるとともに、集団的な運動においても短・長期的なグループの到達目標を相談させ、仲間と共に活動する姿勢を育てる。 [具体的な授業改善策]基本的な動きと発展的運動スキルを身に付けさせ、グループ学習を多く取り入れるなど運動量を確保し、タブレットを利用するなど、生徒が授業の内容を楽しんでいるようにする。 [補充・発展指導計画]発達段階や個人差に応じた指導を行い、日常的に運動に接していない生徒の運動習慣を身につける指導をする。 </td> </tr> <tr> <td> 技術・家庭 [指導法の課題分析]製作(実践)に関する意欲は高い。座学(理論)への意欲を向上させていく。 [具体的な授業改善策]「技能・科学的な認識・知識」を習得させるため、「理論と実践」が綿密に結びついた授業の展開を行う。 [補充・発展指導計画]作品が完成してない生徒に対する、補習の実施。都展への作品の出品。 </td> </tr> <tr> <td> 英語 [指導法の課題分析]英語科全員で学力をつける「北原メソッド」を実践しており、その成果が十分に出ている。様々な調査から都内上位、全国的にも公立中学校の中ではトップグループであることが推測できる。 [具体的な授業改善策]生徒の自学がシステム化されているが一部生徒に自学が進んでいない現実がある。ペアシステムなどを利用し、補強していく。 [補充・発展指導計画]学年の上位層中位層を厚くし、伸ばし、それによって下位層をペアシステムで引き上げる計画である。 </td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	国語 [指導法の結果分析]「読む」「読み取る」領域を充実しなければならない。読書指導はもとより、「読む」時間を多くし、読まざるを得ない場の設定、読みたくなる環境の設定を心がける。[具体的な授業改善策]図書室を利用した学習を多く設定する。併せて、読んだことをもとに話し合ったり書き合ったりする授業を実践していく。読んだことを生かして進める授業の形を実現するようにする。読書一万ページの取り組みを活性化するため、図書室を利用した授業の工夫を考え、実践していきたい。[補充・発展指導計画]自主学習を奨励し、力に応じてやりたいことを具体的に形にしていって課題の設定やシステムを作っていく。	社会 [指導法の課題分析]授業開始時に本時の目標を明確にし、授業での学習内容が分かりやすいように効果的に学習していけるようにする。思考・判断・表現力を高められるようにしていきたい。 [具体的な授業改善策]授業終了時に次時の授業内容を予告し、教科書を一読するなどの予習をしていくようにする。また、授業の最初には時事問題を発表させ、必要があれば簡単な解説を行い、社会に対する興味・関心を育てたい。様々な資料を活用し、多面的・多角的に社会的現象を考えさせていきたい。また、インターネットをスクリーンに出して資料として併用していく。 [補充・発展指導計画]3年生では弁護士会指導のもと模擬裁判、税務署や間税会指導のもと租税教室も実施する。全学年希望する生徒には放課後に質問教室、補習を実施する。	数学 [指導法の結果分析]授業は習熟度別の少人数授業を行っている。基礎クラスではスモールステップを大切にしており、段階を丁寧に踏む指導ができていく。学習すべきことが明確にできているが、演習時間が少ないように感じる。応用コースでは数学の本質に触れる機会、数学的活動の時間を設定することがあまりできていない。この点が「数学的な見方や考え方」の結果に表れている。 [具体的な授業改善策]授業の進め方を見直すことで、「数学的な見方や考え方」の力を伸ばすような指導の時間を確保する。教科書に載っている「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」を活用していきたい。 [補充・発展指導計画]上記のことに加え、スパイラル的な展開を活かして授業を進めていく。	理科 [指導法の課題分析]実験への関心や興味はより高まっている。より実験・観察を中心とした授業を進めることで、実感的理解を高め、理科への学習意欲が高まるようにする。実験の予想とその実験結果から考察を深めていく活動をより丁寧にを行うようにする。 [具体的な授業改善策]班での実験の実施や実験プリントの工夫・改善を行う。 [補充・発展指導計画]・授業中の繰り返し指導を行う・生徒同士が教え合えるように授業を進めていく。	音楽 [指導法の課題分析]小学校時、または前年度までの学習における、楽典的な知識の向上を図る。 [具体的な授業改善策]楽典プリントの活用。読譜の工夫。ソルフェージュ能力を身に付けさせる。 [補充・発展指導計画]放課後等に個別指導を行う。人前で演奏する機会を増やす。	美術 [指導法の課題分析]指導法のねらいを確実に伝え、「与えられたテーマ」を生徒各自に理解させ、レベルの高い完成作品を目指して制作できるようにする。また、そのために必要な知識や技術の向上を図る。 [具体的な授業改善策]個別指導を充実させ、制作の各段階での確認を行い、基礎的な理論や技術への理解を深め実践につなげる。また互いの作品を鑑賞する時間をとり、言語活動を通して良さを学びとる機会を増やす。 [補充・発展指導計画]各単元の前後等、機会あるごとにスケッチや小作品に取り組み、表現力技術の向上を図る。	保健体育 [指導法の課題分析]各単元における個人の目標を短期目標・長期目標を設定させるとともに、集団的な運動においても短・長期的なグループの到達目標を相談させ、仲間と共に活動する姿勢を育てる。 [具体的な授業改善策]基本的な動きと発展的運動スキルを身に付けさせ、グループ学習を多く取り入れるなど運動量を確保し、タブレットを利用するなど、生徒が授業の内容を楽しんでいるようにする。 [補充・発展指導計画]発達段階や個人差に応じた指導を行い、日常的に運動に接していない生徒の運動習慣を身につける指導をする。	技術・家庭 [指導法の課題分析]製作(実践)に関する意欲は高い。座学(理論)への意欲を向上させていく。 [具体的な授業改善策]「技能・科学的な認識・知識」を習得させるため、「理論と実践」が綿密に結びついた授業の展開を行う。 [補充・発展指導計画]作品が完成してない生徒に対する、補習の実施。都展への作品の出品。	英語 [指導法の課題分析]英語科全員で学力をつける「北原メソッド」を実践しており、その成果が十分に出ている。様々な調査から都内上位、全国的にも公立中学校の中ではトップグループであることが推測できる。 [具体的な授業改善策]生徒の自学がシステム化されているが一部生徒に自学が進んでいない現実がある。ペアシステムなどを利用し、補強していく。 [補充・発展指導計画]学年の上位層中位層を厚くし、伸ばし、それによって下位層をペアシステムで引き上げる計画である。	<p>○個人や集団生活の向上のために、礼儀やきまりを尊重する態度を育てる。</p> <p>○家庭・地域等との連携を密にして豊かな人間関係を築き、帰属意識をもって生活できるように支援する。</p> <p>○安全確保や健康な生活についての基本的な知識を身に付けさせる。</p> <p style="text-align: center;">進路指導の重点</p> <p>○自己理解を深め、主体的に進路が選択できる能力を育てる。</p> <p>○職業調べ・職業体験等のキャリア教育を通して、将来の夢や目標を明確にさせ、その実現に向けて努力しようとする意欲を向上させる。</p> <p>○体験活動を通して望ましい勤労観・職業観の形成に努める。</p>
取組内容												
国語 [指導法の結果分析]「読む」「読み取る」領域を充実しなければならない。読書指導はもとより、「読む」時間を多くし、読まざるを得ない場の設定、読みたくなる環境の設定を心がける。[具体的な授業改善策]図書室を利用した学習を多く設定する。併せて、読んだことをもとに話し合ったり書き合ったりする授業を実践していく。読んだことを生かして進める授業の形を実現するようにする。読書一万ページの取り組みを活性化するため、図書室を利用した授業の工夫を考え、実践していきたい。[補充・発展指導計画]自主学習を奨励し、力に応じてやりたいことを具体的に形にしていって課題の設定やシステムを作っていく。												
社会 [指導法の課題分析]授業開始時に本時の目標を明確にし、授業での学習内容が分かりやすいように効果的に学習していけるようにする。思考・判断・表現力を高められるようにしていきたい。 [具体的な授業改善策]授業終了時に次時の授業内容を予告し、教科書を一読するなどの予習をしていくようにする。また、授業の最初には時事問題を発表させ、必要があれば簡単な解説を行い、社会に対する興味・関心を育てたい。様々な資料を活用し、多面的・多角的に社会的現象を考えさせていきたい。また、インターネットをスクリーンに出して資料として併用していく。 [補充・発展指導計画]3年生では弁護士会指導のもと模擬裁判、税務署や間税会指導のもと租税教室も実施する。全学年希望する生徒には放課後に質問教室、補習を実施する。												
数学 [指導法の結果分析]授業は習熟度別の少人数授業を行っている。基礎クラスではスモールステップを大切にしており、段階を丁寧に踏む指導ができていく。学習すべきことが明確にできているが、演習時間が少ないように感じる。応用コースでは数学の本質に触れる機会、数学的活動の時間を設定することがあまりできていない。この点が「数学的な見方や考え方」の結果に表れている。 [具体的な授業改善策]授業の進め方を見直すことで、「数学的な見方や考え方」の力を伸ばすような指導の時間を確保する。教科書に載っている「みんなで話し合ってみよう」「自分のことばで伝えよう」「自分の考えをまとめよう」を活用していきたい。 [補充・発展指導計画]上記のことに加え、スパイラル的な展開を活かして授業を進めていく。												
理科 [指導法の課題分析]実験への関心や興味はより高まっている。より実験・観察を中心とした授業を進めることで、実感的理解を高め、理科への学習意欲が高まるようにする。実験の予想とその実験結果から考察を深めていく活動をより丁寧にを行うようにする。 [具体的な授業改善策]班での実験の実施や実験プリントの工夫・改善を行う。 [補充・発展指導計画]・授業中の繰り返し指導を行う・生徒同士が教え合えるように授業を進めていく。												
音楽 [指導法の課題分析]小学校時、または前年度までの学習における、楽典的な知識の向上を図る。 [具体的な授業改善策]楽典プリントの活用。読譜の工夫。ソルフェージュ能力を身に付けさせる。 [補充・発展指導計画]放課後等に個別指導を行う。人前で演奏する機会を増やす。												
美術 [指導法の課題分析]指導法のねらいを確実に伝え、「与えられたテーマ」を生徒各自に理解させ、レベルの高い完成作品を目指して制作できるようにする。また、そのために必要な知識や技術の向上を図る。 [具体的な授業改善策]個別指導を充実させ、制作の各段階での確認を行い、基礎的な理論や技術への理解を深め実践につなげる。また互いの作品を鑑賞する時間をとり、言語活動を通して良さを学びとる機会を増やす。 [補充・発展指導計画]各単元の前後等、機会あるごとにスケッチや小作品に取り組み、表現力技術の向上を図る。												
保健体育 [指導法の課題分析]各単元における個人の目標を短期目標・長期目標を設定させるとともに、集団的な運動においても短・長期的なグループの到達目標を相談させ、仲間と共に活動する姿勢を育てる。 [具体的な授業改善策]基本的な動きと発展的運動スキルを身に付けさせ、グループ学習を多く取り入れるなど運動量を確保し、タブレットを利用するなど、生徒が授業の内容を楽しんでいるようにする。 [補充・発展指導計画]発達段階や個人差に応じた指導を行い、日常的に運動に接していない生徒の運動習慣を身につける指導をする。												
技術・家庭 [指導法の課題分析]製作(実践)に関する意欲は高い。座学(理論)への意欲を向上させていく。 [具体的な授業改善策]「技能・科学的な認識・知識」を習得させるため、「理論と実践」が綿密に結びついた授業の展開を行う。 [補充・発展指導計画]作品が完成してない生徒に対する、補習の実施。都展への作品の出品。												
英語 [指導法の課題分析]英語科全員で学力をつける「北原メソッド」を実践しており、その成果が十分に出ている。様々な調査から都内上位、全国的にも公立中学校の中ではトップグループであることが推測できる。 [具体的な授業改善策]生徒の自学がシステム化されているが一部生徒に自学が進んでいない現実がある。ペアシステムなどを利用し、補強していく。 [補充・発展指導計画]学年の上位層中位層を厚くし、伸ばし、それによって下位層をペアシステムで引き上げる計画である。												
総合的な学習の時間の重点												
<ul style="list-style-type: none"> ○教科学習との双方向性を持ち、幅広い学習により多面的な学習で人間関係力や表現力を伸ばす。 ○主体的・創造的に探求活動を行い、社会の中での自己の生き方を考え、将来にわたって粘り強く「生きる力」を育成する。 												

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○進路、総合的な学習の時間等での地域の教育力を活用した授業計画の作成を図る。 ○授業時数の確保を図る。(週29時間) ○第1・3土曜日に授業を実施し、授業時数確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導、習熟度別指導を推進する。 ○基礎学力の充実をめざす補充授業を実施する。 ○デジタル教科書やインターネット、タブレット端末を利用した授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容・評価に対する「保護者説明会」を実施する。 ○教科別の保護者会を実施し、きめ細かく学習方法等の交流を図る。 ○評価・評定に関する研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究主任を中心とした研修体制作りと研修を実施する。 ○赤坂アカデミーに関する研究授業・研修会を実施する。 ○授業実践力を高める研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○面談週間や随時の個人面談と定期的な保護者会を実施する。 ○保育実習、ボランティア活動など地域施設や組織との交流活動を実施する。 ○運動会、授業参観、道徳授業地区公開講座等の地域公開型の行事を実施する。 ○学校評議員会における外部評価から改善意見を取り込む。

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組